

令和5年度 岐阜県全国がん登録勉強会

演習問題

2023年7月13日(木)

岐阜大学医学部附属病院 全国がん登録室

0.目次

1. 「全国がん登録」の届出対象について
2. 「全国がん登録」の届出対象となる疾病について
3. 「全国がん登録届出票」の側性の選択について
4. 「全国がん登録届出票」の診断根拠の選択について
- 5-1. 「全国がん登録届出票」の進展度の選択について(1)
- 5-2. 「全国がん登録届出票」の進展度の選択について(2)
- 6-1. 「全国がん登録遡り調査票」について(1)
- 6-2. 「全国がん登録遡り調査票」について(2)

1.「全国がん登録」の届出対象について

■以下の例は、自施設から届出すべき症例ですか。回答欄に○又は×を記入してください。

	症例	回答
1	自施設で乳がんを診断。精査・加療のため他施設へ紹介した。	
2	自施設での検査結果から肺がんを疑い、他施設へ紹介。他施設で手術が行われ肺扁平上皮癌であったとの報告書を受け取った。その後、自施設へ受診はあるが、がんの経過観察は他施設で行われている。	
3	自施設で高血圧の治療中に、他施設で食道がんを診断。 他施設での初回治療終了後に、自施設でがんについてもフォローを行うことになった。	
4	自施設には精神疾患治療のために入院したが、「がん」も併発しており疼痛軽減の薬を処方している。	
5	他施設で喉頭がんの手術後、自施設では言語療法のリハビリを行っている。	
6	詳しい病理診断は行われていないが、「がん」ということで経過観察を行い、カルテ上も悪性腫瘍の記載があった。	
7	以前と同じ臓器において、以前とは異なる組織型の「がん」の発生を診断した。	
8	医療ツーリズムで来日した患者に対し、「がん」の治療を行った。	
9	他施設で乳がんの手術後、自施設で乳房再建のみを行った。	
10	自施設に救急搬送され、死亡。死亡診断書に「がん」と記載した。 なお、過去に「がん」による受診歴はない。	

2. 「全国がん登録」の届出対象となる疾病について

■ 次の病理組織名は全国がん登録に届出が必要な疾病ですか。回答欄に○又は×を記入してください。

	形態コード	形態用語	和訳形態用語	回答
1	8240/3	Carcinoid, NOS	カルチノイド, NOS	
2	9989/3	Myelodysplastic syndrome, NOS	骨髄異形成症候群, NOS	
3	8140/3	Adenocarcinoma, NOS	腺癌, NOS	
4	8070/0	Actinic keratosis	日光角化症	
5	8081/2	Bowen disease	ボウエン病	
6	9751/1	Langerhans cell histiocytosis, NOS	ランゲルハンス細胞組織球症, NOS	
7	8936/3	Gastrointestinal stromal tumor (GIST)	胃腸管間質腫瘍	
8	9530/0	Multiple meningiomas	多発性髄膜腫(中枢神経原発)	
9	8120/0	Papilloma of bladder	膀胱乳頭腫	
10	9982/3	Refractory anemia ,NOS	不応性貧血,NOS	

3.「全国がん登録届出票」の側性の選択について

- 次の原発部位に「がん」が発生した時、側性はいずれを選択するのが正しいですか。回答欄に正しい選択肢のコードを記入してください。

側性	1.右	2.左	3.両側	7.側性なし	9.不明
----	-----	-----	------	--------	------

	局在コード	原発部位	回答
1	C80.9	原発部位不明	
2	C34.2	肺、中葉	
3	C44.3	顔面の皮膚(正中)	
4	C73.9	甲状腺	

4. 「全国がん登録届出票」の診断根拠の選択について

- 次のような「がん」の診断根拠に関わる情報がある場合、診断根拠はいずれを選択するのが正しいですか。回答欄に正しい選択肢のコードを記入してください。

診断根拠	1.原発巣の組織診	2.転移巣の組織診	3.細胞診
	4.部位特異的腫瘍マーカー	5.臨床検査	6.臨床診断
			9.不明

	原発部位	病理診断	診断根拠に関わる情報	回答
1	C22.0 肝臓	8170/39 肝細胞がん	腫瘍マーカーにてAFP高値	
2	C42.1 骨髄	9861/39 急性骨髄性白血病	骨髄を検体とする検査にて診断	
3	C80.9 原発部位不明	8140/39 腺癌	組織診断にて腺癌であることが判明したものの、原発部位の特定には至らなかった	
4	C25.1 膵体部	8500/31 腺癌(浸潤性膵管癌)、 高分化型	紹介元からの診療情報提供書には病理診断結果の記載があるものの、診断方法は書かれていなかった	

5-1.「全国がん登録届出票」の進展度の選択について(1)

■次の症例について、「進展度・治療前」及び「進展度・術後病理学的」はいずれを選択するのが正しいですか。回答欄に正しい選択肢のコードを記入してください。

進展度・治療前	400 上皮内	410 限局	420 領域リンパ節転移	430 隣接臓器浸潤	440 遠隔転移	777 該当せず	499 不明	
進展度・術後病理学的	400 上皮内	410 限局	420 領域リンパ節転移	430 隣接臓器浸潤	440 遠隔転移	660 手術なし・ 術前治療後	777 該当せず	499 不明

	症例	回答	
1	他施設から紹介された乳がんの初回治療終了後の患者に対して経過観察を行っている。なお、紹介元からの診療情報提供書には進展度についての記載はなかった。	進展度・治療前	
		進展度・術後病理学的	
2	胃体部の「管状腺癌8211/3」と診断され、自施設で内視鏡的治療を施行。 術後の病理所見では上皮内癌(Tis)であった。	進展度・治療前	
		進展度・術後病理学的	

5-2. 「全国がん登録届出票」の進展度の選択について(2)

■次の症例について、「進展度・治療前」及び「進展度・術後病理学的」はいずれを選択するのが正しいですか。回答欄に正しい選択肢のコードを記入してください。

進展度・治療前	400 上皮内	410 限局	420 領域リンパ節転移	430 隣接臓器浸潤	440 遠隔転移	777 該当せず	499 不明	
進展度・術後病理学的	400 上皮内	410 限局	420 領域リンパ節転移	430 隣接臓器浸潤	440 遠隔転移	660 手術なし・ 術前治療後	777 該当せず	499 不明

	症例	回答	
3	自施設で慢性骨髄性白血病と診断。化学療法を行った。	進展度・治療前	
		進展度・術後病理学的	
4	過去に他施設で肺がんの治療を受けた患者。 他疾患で自施設に通院中、再発。検査により転移性脳腫瘍と診断された。	進展度・治療前	
		進展度・術後病理学的	
5	腹部痛のため自施設に救急搬送。腹部CTにより横行結腸癌、それに伴う大腸がんイレウス、病期は「T3N0M0stage II A」と診断。ご高齢のため癌に対する手術はリスクが高いと判断され、症状緩和を目的にステント留置を行った。	進展度・治療前	
		進展度・術後病理学的	

6-1. 「全国がん登録遡り調査票」について(1)

- 次のような症例の場合、遡り調査票の『死亡診断書のがんについて』欄はいずれを選択するのが正しいですか。正しい選択肢の回答欄に○を記入してください。

遡り調査票の記載内容	原発部位:80.9 原発部位不明／病理診断:8000/39 悪性新生物
調査対象者に関する 自施設の情報	心疾患にて自施設に救急搬送され、死亡した患者。 他施設で10年前にがんの診断・治療を受けた情報があったため、死亡診断書に「がん」と記載した。がんについての詳しい情報はない。

	区分	回答
1	通常回答	
2	死亡診断書に記載のがんは調査票とは異なる	
3	死亡検案	
4	死亡診断書には調査対象のがんの記載なし	
5	調査対象者の該当なし	
6	調査対象腫瘍の詳細診療情報なし	

6-2. 「全国がん登録遡り調査票」について(2)

- 次のような症例の場合、遡り調査票の『死亡診断書のがんについて』欄はいずれを選択するのが正しいですか。正しい選択肢の回答欄に○を記入してください。

遡り調査票の記載内容	原発部位:C34.9 肺,NOS／病理診断:8000/39 悪性新生物
調査対象者に関する 自施設の情報	自施設で過去に「肝細胞がん」と診断しており、届出漏れが判明した患者。 死亡診断書にも「肝がん」と記載している。

	区分	回答
1	通常回答	
2	死亡診断書に記載のがんは調査票とは異なる	
3	死亡検案	
4	死亡診断書には調査対象のがんの記載なし	
5	調査対象者の該当なし	
6	調査対象腫瘍の詳細診療情報なし	